



今回の応募葉書の総数は4732通、内訳は日本靴小売商連盟分が1465通、協会専門店が1595通、協会大型店が1672通となった。昨年は総数4691通だったので、昨対比0.6%微増した。小売商連盟との共同企画として平成28年から行ってきたが、応募数の推移を表にまとめてみた。スタート時点との比

10月23日の理事会終了後、参加者の協力を得て、靴まつりの応募葉書の抽選会を開催した。

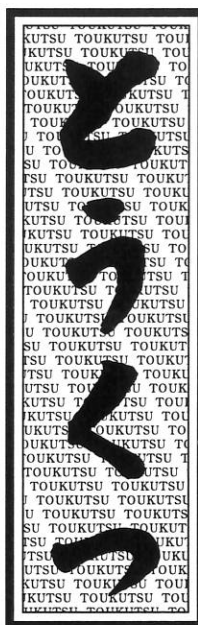
2020年「靴まつり」抽選会開催



靴まつり・応募数推移

実施年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年
協会大型店	1435	1928	1203	1616	1672
協会専門店	1753	1353	1496	1381	1595
小売商連盟	2205	2530	1975	1694	1465
応募総数	5393	5811	4674	4691	4732
昨対比/%	—	107.8%	80.4%	100.4%	100.9%
28年比/%	—	107.8%	86.7%	87.0%	87.8%

較では12%ほど減少している。抽選は、3つの抽選箱に、それぞれの応募葉書を入れ、当選者数500名を応募数で按分し、小売商連盟からは155名、専門店は169名、大型店が176名を、それぞれの抽選箱から、参加理事の協力で選り出した。当選葉書は事務局で整理し、各加盟店に連絡をし、5,000円のお買物券を11月中旬に当選者に発送する。



一般社団法人
東靴協会
千代田区鍛冶町1-6-17
〒101-0044 ☎(3252) 5656
(11月号)

コロナ禍で断捨離

○コロナ禍の新しい体験

コロナ禍で百貨店や大型SCが閉鎖されていた自粛期間、アパレル製品や靴を買わなかった人も多いだろう。会社にも行けず、旅行にも行けない。人にも合わない。家にいるだけなら、手持ちの洋服で十分だ。外出しなければ靴も傷まない。

マスクをしているので、化粧もできない。そして、化粧品も売れなくなった。家にいる時間が長かったため、余分なモノが目につき、身の回りの不用品を処分した人も多い。いわゆる、断捨離である。

自粛が明けても、断捨離した人がこれまで通りモノを買うだろうか。買うにしても、相当吟味するはずだ。コロナの前から、若い世代はモノを買うことに罪悪感を抱いていた。モノを買うこと

シューフィッターの皆様へ
住所・勤務先等変更が生じた時は必ず協会までご連絡をお願いします

は、資源を使い、環境を汚す。そんな気分がコロナ禍で加速している。

観光客に依存していたビジネスも苦戦している。インパウンドがなくなり、高級食材が売れなくなった。SNS上に「たすけてください」というグループが立ち上がった。生産者を支援しようと、割安になった商品を取り寄せる動きも出てきた。改めて、国産の食材がいかに美味しいかを再確認した人も多いだろう。

生活者はコロナ禍で、様々な新しい体験をしている。その体験によって、アフターコロナのビジネスは変化するだろう。

○脱・使い捨て生活

コロナ禍と同時に、中国に対するイメージも大きく変化した。

中国はウイルスの発生源だったが、初期の段階では情報を隠蔽した。春節には、中国から世界中へと観光客が散らばった。

その後、感染が広がり、マスク不足になった。世界はマスク生産を中国に依存していることに気が付いた。サプライチェーンを再構築しなければならぬと感じた。

ウイグル、チベット、内モンゴルなどの少数民族の人権侵害も伝えられた。

米国は明確に中国を敵対視し、中国との分断を宣言した。これにより、親中とされていた国々も、次々と中国を批判するようになった。

政治的に日中関係がどうなるかは分からないが、生活者は新しい価値観、新しい生活様式へと転換していくだろう。スーパーのレジ袋の有料化も、使い捨て生活を反省する機会になった。そうすれば、大量の商品は必要ない。数量が減れば、単価の高い商品に切り替えないと、企業は採算が合わなくなる。

結果的に中国製から国産への流れが起きるかもしれない。国内メーカーには、大きなチャンスである。
(FW10月号より)

日本靴小売商連盟・東靴協会会員各位

経済産業省からの周知依頼情報等を転送しますので、メールアドレスをお知らせください。東靴協会HP問い合わせ欄から、情報希望を送信してください。

www.toukutsu-kyokai.jp/inquiry/index.html

景気動向アンケート調査

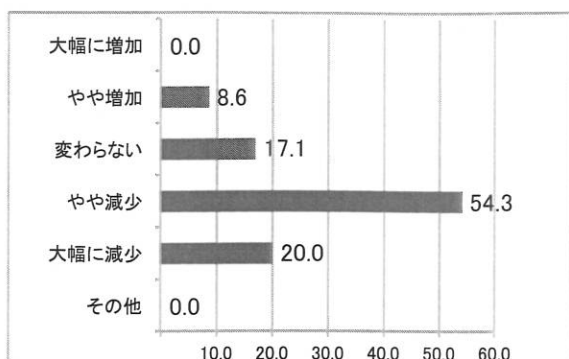


(一社) 日本皮革産業連合会では、景気の低迷や消費スタイルの変化による影響、又新型コロナウイルス感染症による前代未聞の大きな影響が生じているため、8月上旬に、景気動向アンケートを行った。

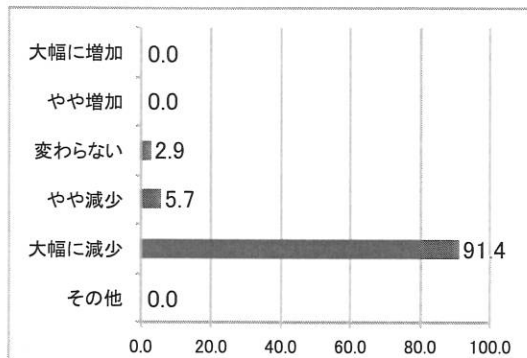
【アンケート集計結果】

卸・小売業

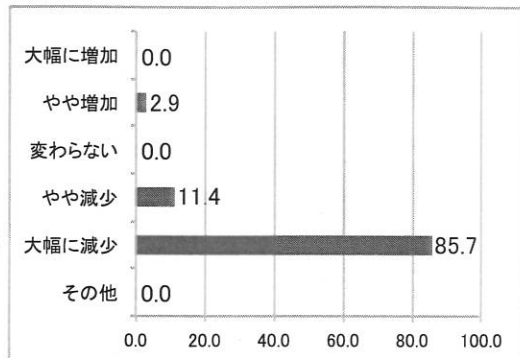
① 令和2年1月～3月期の販売額は、前年同期と比べてどうでしたか。



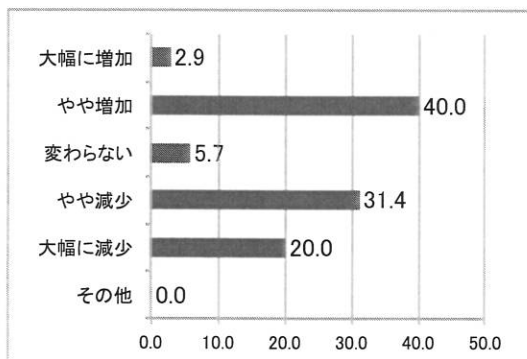
② 令和2年4月～6月期の販売額は、前年同期と比べてどうでしたか。



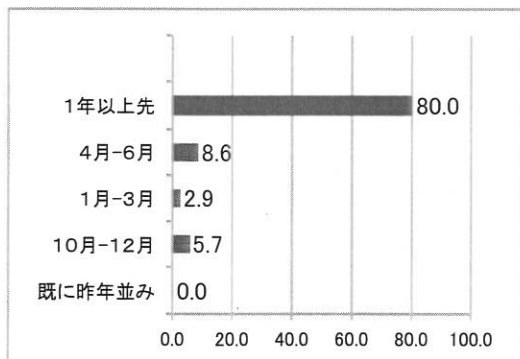
③ 令和2年4月～6月期の販売額は、1月～3月期と比べてどうでしたか。



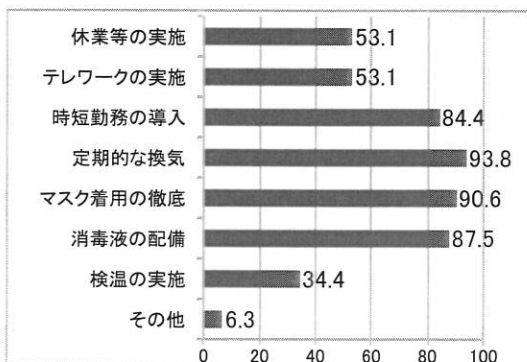
④ 令和2年7月～9月期の販売額は、4月～6月期と比べてどうでしたか。



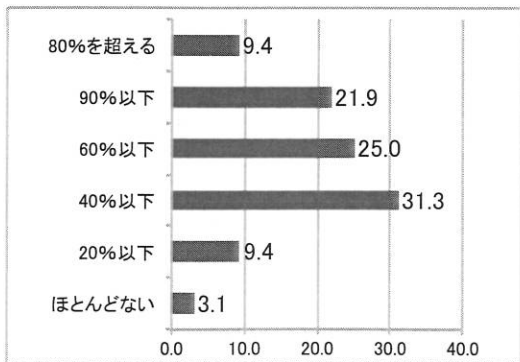
⑤ 販売額が昨年並みに戻るのには、いつ頃になると思いますか。



⑥ 新型コロナウイルス対策として、どのような取り組みをしていますか。



⑦ 新型コロナウイルスによる販売額への影響はどの程度ありますか。



都内廃業45%増加
1月～8月・宿願 飲食最多

東京商工リサーチは都内企業の動向調査をまとめた。

1～8月の休業・解散件数は9095件で、前年同期比で45%増えた。新型コロナウイルスの影響で事業環境の好転が見込めないことから、経営継続を断念する事業者が増えているとみられる。

調査を始めた2000年以降で最多だったのは19年の約1万件で、これを上回るのは事実とされている。同社は「高齢の為、廃業を検討していた経営者が『この機会に』と実行するケースも多い」と指摘する。

1～8月の件数を業種別にみると、最も多いのは飲食や宿泊を含む「サービス他」の3227件で、情報通信(934件)、製造(892件)が続いた。

また、同社がまとめた9月の倒産件数(負債額1千万円以上)は前年同期比25%減の106件だった。4～9月も651件で前年同期よりも19%減った。倒産件数は債務の支払いができなくなったケースを集計している。

景気の先行きの不透明さを踏まえて経営体力のあるうちに廃業しようとする経営者がいる一方、「緊急融資や給付金支給といった行政支援で資金繰りの破綻が回避されている」(同社)と見られる。

(日経MJより)

とうくつ新聞バックナンバー

令和元年11月号から

令和2年10月号まで

今年も一年が経ち、バックナンバーを掲載する時期となりました。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の関係で、各種のイベントなどが中止になり、未曾有の経験をした年となりました。この一年を振り返って見ませんか。

○令和元年11月号(454号)

一面・「靴まつり」抽選会と過去の応募者数推移。
世界の靴データ、生産・消費・輸出入のデータを国別に掲載。

二面・業界情報、ABCマート・チヨダ・ムーンスター・アシックス・アルペン・ニューバランス各社の情報。

三面・本誌バックナンバー、平成30年11月号(443号)と令和元年10月号(453号)。

四面・理事会・支部連絡会だより。支部だより(世田谷支部・秋の親睦旅行、草津温泉方面5名参加)。

*大手三社の売り上げ推移。

*東京都の中小企業景況調査。

【*印の2項は毎月掲載】

○令和2年1月号(455号)

一面・年頭所感(栗原茂会長)。

二面・業界情報、大塚製靴が2020新モデル限定発売。丸紅フットウェアがアウトレットショップ開店。

三面・アシックスの取り組み。

四・ABCマート海外展開キッザニア「靴工場」パビリオンでデザインコンテスト開催。

五・理事会支部連絡会。靴産業150年に向けた各種事業の予定を発表。会員計報「清水岩男氏」。

○令和2年2月号(456号)

一面・日本の靴産業150周年、靴の記念日式典、靴の記念日イベント、記念誌作成。支部だより(中央支部、日本橋・都寿司で新年会)。

二面・業界情報・百貨店の売り上げ減。アシックスが走り方検知企業へ出資。新刊情報業界唯一の総合年鑑「シューズブック2020版」。

三面・靴小売商上位50社ランキング表。専門店専門性を生かす。

四・理事会支部連絡会。(令和元年12月。及び令和2年1月)。

○令和2年3月号(457号)

一面・(株)エイゾー工場見学実

施、2月19日に八潮市の工場へ15名が参加し実施。

二面・工場見学アンケート調査結果報告。

三・アシックスブランド直営店・東京有明にオープン。

四・親和会総会新年会開催、2月13・14日「河鹿荘」イケアヤ靴店・業界紙に掲載、「Shoes Post Weekly」。

五・靴専門店大手三社正月商戦。靴産業150年に向けた各種事業の予定を発表。会員計報「清水岩男氏」。

○令和2年4月号(458号)

一面・第87回靴の記念日式典挙行(各団体27名参加)。新型コロナウイルスに対するビタミンの有効性は？

二面・三・2020年秋冬のファッションの傾向(アジアリンク(株))。

四・理事会支部連絡会。新型コロナウイルスによる資金繰り支援について。各種の支援金、助成金を紹介。

五・令和2年5月号(459号)一面・MICAM情報、第98回国際靴見本市を見て。

○令和2年5月号(459号)

一面・MICAM情報、第98回

ナが迫る抜本改革。学生のバイト「預金目的」。屋内運動ニーズ新たな商機。

二面・「靴の記念日」抽選会開催、応募総数の推移。WEBの力でお客様とのコミュニケーション強化。

三・令和2年6月号(460号)一面・新型コロナウイルス感染症お見舞い金支給。

二面・「新型コロナウイルス」禍、専門店の対応を紹介。

三・夏商戦を盛り上げる注目カテゴリー「カジュアル化」が進み、価格帯は二極化。

四・変わる消費者・次の価値あるモノ。業界で新型コロナウイルスの支援。東京都中小企業景況調査。

五・令和2年7月号(461号)一面・第八回・東靴協会定時総会開催。永年勤続表彰。

二面・大手靴小売の決算。三・新型コロナウイルスによる経営への影響調査。

四・日本靴連盟第64回総会。ナイキはコロナ休業で850億円の赤字。

○令和2年8月号(462号)

一面・二面・コロナに圧勝する経営戦略。

カジュアル婦人服復調。三・子供靴市場の変化。

四・コロナで自転車通勤増加。新人社員が求める職場。

五・令和2年9月号(463号)一面・靴の浅草150年記念展示「Shoe shoe history of Japan」浅草で開催、浅草文化センター7階ホール。

二面・三・2021年春夏のファッションの傾向(アジアリンク(株))。

四・理事会支部連絡会。廃タイヤでビーチサンダル。中小企業景況調査。

五・令和2年10月号(464号)一面・日本の靴150周年靴ミュージアム開催。

二面・アウトドア意識調査。盛り上がるキャンプ市場。

三・コロナで景気悪化が長期化。アシックスが開発。靴底センサーで走りを評価。

四・当協会設立70周年。支部だより(中央支部)総会。

参加者募集

日時：令和3年2月17日(水)・18日(木)

場所：箱根湯本温泉「河鹿荘」

◎お土産付きです。詳細は別途ご案内いたします。是非ご参加ください。

お申し込みは事務局まで。

理事会・支部連絡会

だより

令和二年十月二十三日(金)

午後一時、西村記念ホール

出席者20名

松戸副会長の司会で開会。始めに会長より「10月は秋冬商戦の山場ですが、コロナ禍で厳しい状態が続いております。」

自分の店を店頭から見て、ゆつくりと商品やディスプレイを見直し、工夫をすることでお客様の目も変わってきます。まだまだやることはあることと思います。私の店は紳士物がほとんどですが、少し動きが出てきたようです。上野はアメ横が年末に向かい混雑しますが、今のところは静かです。例年の年末の混み方は期待できそうありません。店舗のシャッターが下りたままの店もあり、そのあとが埋まらない状態が続いています。年内は余り期待できませんが、来年の春頃からは動きが出てくることを願っています。皆様も冬に向かいインフルエンザにも注意して乗り切つてまいりましょう」と挨拶。議事に移った。

【決議事項】

一、上期の事業及び会計報告について

矢代事務局長より配布資料に添って、令和2年度上期(4月9月)の事業報告の説明を詳細に行った。

続いて事務局田中氏より会計報告を行った。配布資料に添って、正味財産増減計算書の公益目的事業会計、収益事業等会計、法人会計の説明に続き、正味財産増減計算書総括表の説明を行った。場内に諮り異議なく満場一致で承認された。

【報告・案内事項】

一、70周年式典について

矢代事務局長より報告。先の常務会で表記について検討した結果、11月23日に上野精養軒で予定していた70周年記念の食事は、コロナの影響で、中止とすることとした。なお、式典のみを当西村記念ホールで開催することとした。内容は神田明神による神事と玉串奉奠のみを行い、会食は行わない、と説明した。

二、「靴まつり」応募結果とお買物券の取り扱いについて

続いて矢代事務局長より、9月に開催した「靴まつり」の応募総数など説明し、終了後に行う抽選会の協力をお願いをした。(一面参照)

三、シューフィッター養成講座について

矢代事務局長より、来年開催される表記講座は1月20日(22日)に両国国際ファッションセンターで行われます。希望者は事務局まで申し込みを要請した。

望者は事務局まで申し込みを要請した。

四、親和会総会について

松戸副会長より説明。来年2月17日・18日に、箱根湯本温泉「河鹿荘」で開催します、多数の皆様のご参加を願います、と説明し参加を要請した。

五、その他

矢代事務局長より、本日理事会後の抽選会が終了した後、日本靴小売商連盟の在京役員会を開催します。関係者は残るようにと説明した。続いて、今後のスケジュールの説明を行った。

住みたい街ランキング

1位 (2)	横浜
2位 (1)	吉祥寺
3位 (3)	大宮
3位 (9)	浦和
5位 (7)	立川
5位 (18)	三鷹
5位 (圏外)	恵比寿
8位 (9)	品川
9位 (5)	池袋
9位 (11)	船橋
11位 (圏外)	津田沼
12位 (4)	新宿
12位 (16)	自由が丘
14位 (6)	中野
14位 (圏外)	川口

() 昨年20位までの順位

住みたい街ランキング

マンション販売の長谷工グループによると2020年の首都圏「住みたい街」ランキングで、横浜が、初のトップになった。04年の調査開始以来、首位を維持し続けた吉祥寺は2位に落ちた。浦和(3位)、三鷹・恵比寿(5位)の躍進が目立った。

調査は7月下旬、首都圏に居住する20歳代後半から60歳代にインターネットで実施。約2700件の有効回答を得た。横浜は「複数路線が通っていて、都心にも30分位で出

東京都中小企業景況調査(9月)

業況：一進一退で推移
見通し：先行き期待高まる

卸売業			業況			
対象数	回答数	回答率	9月		今後3か月間見通し(当月比)	
875	388	44.3%	悪い	良い	悪い	良い
			-100	0	-100	0
衣料・身の回り品	1. 男子服					
	2. 婦人・子供服					
	3. 靴・履物					
	4. かばん・袋物					
	5. 装身具・身の回り品					

小売業			業況			
対象数	回答数	回答率	9月		今後3か月間見通し(当月比)	
875	286	32.7%	悪い	良い	悪い	良い
			-100	0	-100	0
衣料・身の回り品	1. 呉服・服地・寝具					
	2. 男子服					
	3. 婦人服					
	4. 子供服					
	5. 靴・履物					
	6. かばん・袋物					
	7. 雑貨・身の回り品					
	8. 時計・眼鏡					
	9. ジュエリー・製品					

くください。(日経MJより)

「吉祥寺への憧れはあるが人が多すぎる」「吉祥寺より家賃が安い」など吉祥寺の人気に引け張られる形となった。15位までの順位は表をご覧ください。

19年に9位だった浦和は「電車の本数が多く、都心迄出やすい」など都心へのアクセスの良さを評価する声が多い。三鷹は18位から急上昇。

「吉祥寺への憧れはあるが人が多すぎる」「吉祥寺より家賃が安い」など吉祥寺の人気に引け張られる形となった。15位までの順位は表をご覧ください。

ECでの販売は昨年を上回ったが、駅前立地の店舗が苦戦した。紳士ビジネス・婦人パンプスは引き続き低調、スニーカーは好調に推移した。(チヨダ)

郊外の大型SC、オンラインが好調に推移。(ABCマート)

品揃えの拡大をしたスポーツ・アウトドアカテゴリー、秋冬新商品が好調、スポーツ靴、子供靴は昨年を上回った。(ジフット)

社名		8月	9月	10月
チヨダ	既存店売上	-10.8	-21.1	-5.2
	客数	-9.2	-19.3	-7.0
	客単価	-1.7	-2.2	1.9
	店舗数	1021	1017	1010
ABCマート	既存店売上	-16.0	-21.1	4.1
	客数	-15.0	-15.9	10.7
	客単価	-1.2	-6.2	-6.0
	店舗数	1033	1038	1040
Gフット	既存店売上	-24.6	-38.5	-4.7
	客数	-18.1	-36.3	1.0
	客単価	-7.9	-3.5	-5.6
	店舗数	862	863	860

靴専門店・大手三社の直近3か月売上推移